

## 新しい太陽活動の始まりを待ちわびながら

黒河 宏企 (NPO 法人花山星空ネットワーク)

謹賀新年。今年もよろしくお願い致します。花山星空ネットワークが活動を始めてから5年目に入ります。現在の会員数は396名です。

昨年も皆さんのお陰で、花山天体観望会、講演会、子ども天体観測教室、理科教員指導力向上研修などの事業を好評裏に行うことが出来ました。中でも昨年のハイライトはやはり、我が国に46年振りにめぐってきた「世紀の日食観測」でした。準備勉強会、太陽めがね製作、屋久島・奄美皆既日食観測ツアー、当日の観測会、観測成果報告会など、色々なイベントを開いて、多くの参加者と共に、貴重な体験を楽しむことが出来ました。

今年もまた、本NPOの特色を発揮して、皆さんと共に新しい楽しみを作っていきたいと思います。その一つは「飛騨天文台自然体験ツアー」です。昨年で3回目を数えた「子ども飛騨天文台天体観測教室」は、都会の子ど



(夏の飛騨天文台から見た北アルプスの日の出)

も達にも、きれいな空と山、空気と水を体験させたいとの思いで始めたものですが、「大人も」という要望が高まって来ましたので、今年は大人向けのツアーにも挑戦したいと思っています。

長い間黒点の無かった太陽ですが、ようやく昨年末から、ぼつぼつと見え出しました。このまま次の極大期に向けた新しい活動が始まって、紅炎爆発やフレアーなど、美しくダイナミックな活動を楽しませてくれるのでしょうか？ はたまた100年ぶりの長い極小期が更に続いて、地球気候の温暖化を緩和するのでしょうか？ 今年も太陽活動から目が離せません。